おなかがおもたい
せいそうしゃくん

「こんにちは、僕は清掃車です。みんなのうちから出るごみを、運ぶことがお仕事です。

そんな僕には、今とても心配なことがあります。それはね…、集めるごみがたくさんあって、お腹が重くて動きにくくなってきたことなんだ。

それに、僕がごみを運ぶ『埋立地』っていうところがもうすぐいっぱいになりそうなんだ。そうしたら僕は、どこにごみをもっていけばいいんだろう。」

そこにあいちゃんとはやとくんが心配そうにやってきました。

「大丈夫？清掃車くん」

それを見ていた、りー（Ｒｅｅ）ちゃんが、空からおりて来てみんなに話しかけました。

「ごみを減らせばいいんだよ！」

「君はだれ？」

「私は葛飾区のごみを減らすために、遠い『ごみゼロの国』からやって来ました。りー（Ｒｅｅ）ちゃんって呼んでね。

みんなと一緒にごみを減らすために大切なことを考えていくよ。」

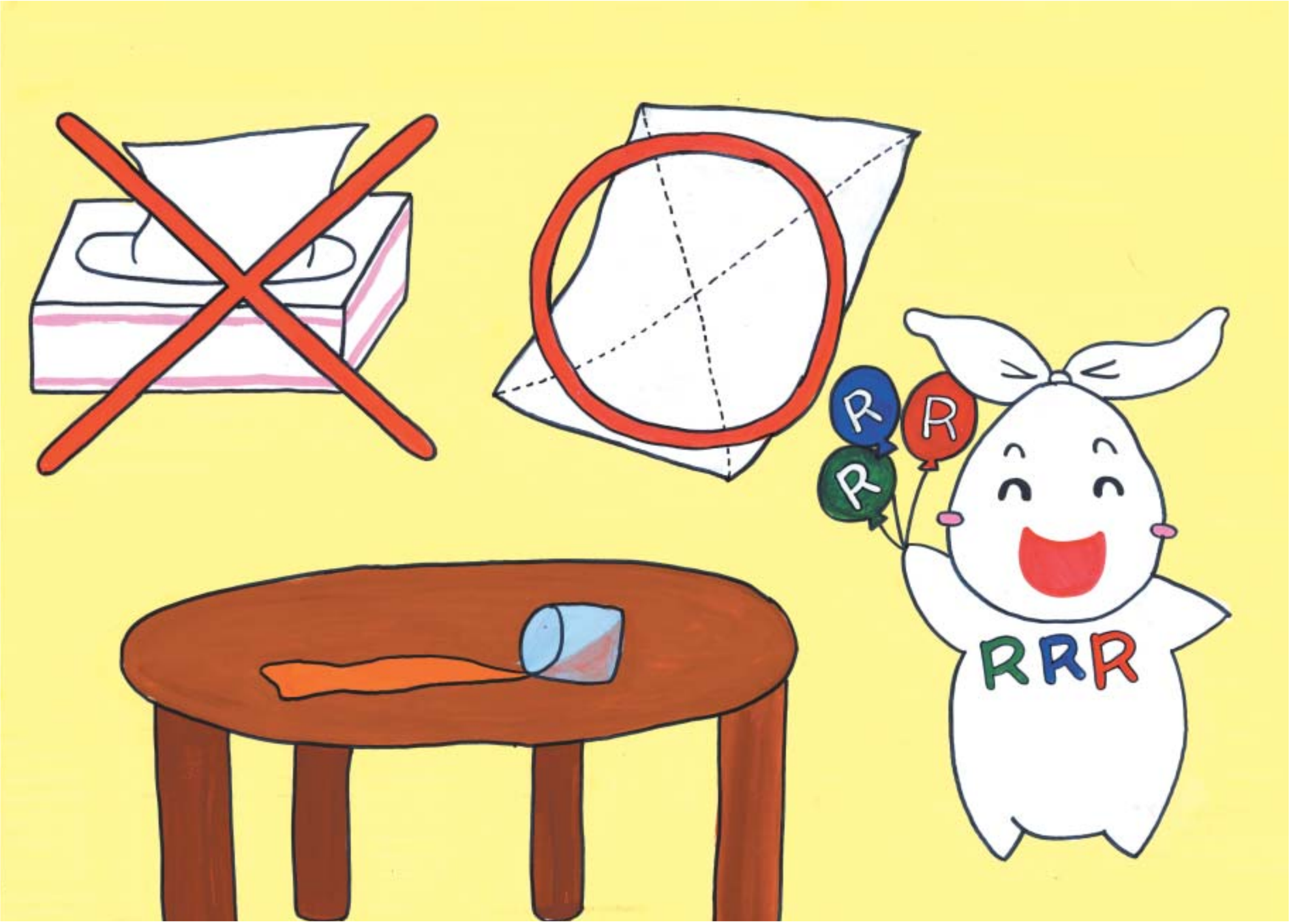
「りー（Ｒｅｅ）ちゃん、ごみを減らすって、どうすればいいの？」
はやとくんが聞きました。

「一番大切なことは、毎日の生活でなるべくごみを出さないようにすることなんだ。
例えば･･･みんなごはんやおかしを食べるとき、食べ残したりしていないかな？」

「あー、この前私、お腹がいっぱいなのにおかわりして、カレーを残しちゃった。」

「ぼくもごはんの前にお菓子を食べて、ごはんを残しちゃったよ。」

そこでりー（Ｒｅｅ）ちゃんは２人に教えてあげました。
「食べ残しはごみになっちゃうから、食べられる分だけもらおうね。」



「それから、2人ともジュースなどを、こぼしてしまったら、ティッシュペーパーじゃなくて、なるべくぞうきんやふきんを使おうよ。」

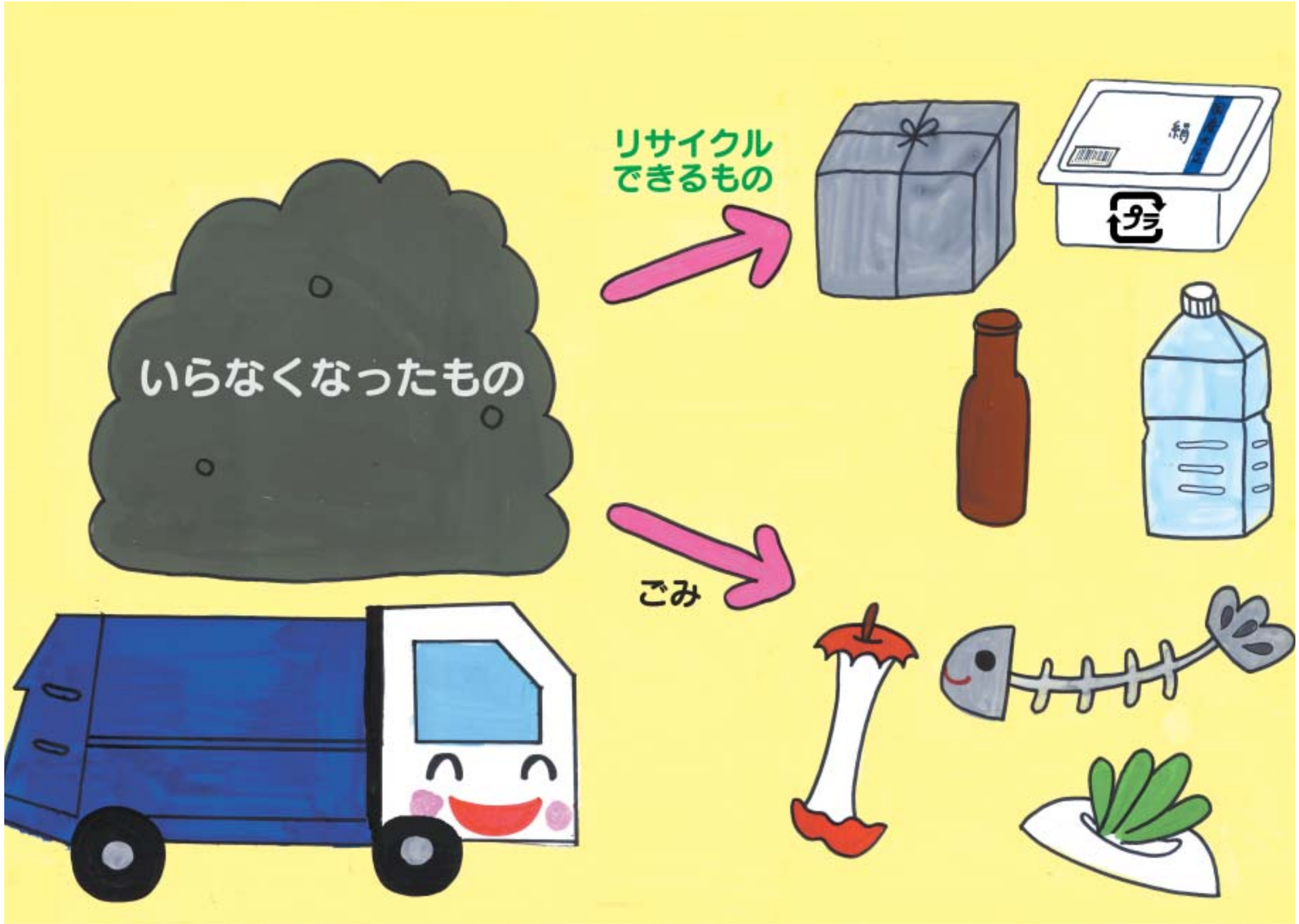
「どうして？」
と はやとくんが聞きました。

「ティッシュペーパーだと1回でごみになってしまうけど、ぞうきんのように、洗ってくりかえし使えるものを使うことで、ごみが減るからだよ。」

「それから、ものを大切にしよう。すぐに捨てずに『まだ使えないかな』って、考えてみて。最初からほんとうにいるものかなって考えてから買ったり、もらったりするともっといいよね。」

とりー（Ｒｅｅ）ちゃんがいいました。

「くまのぬいぐるみも、私のお母さんに頼んで直してもらえばいいんだね。」



「そして、どうしてもいらなくなったものは、ごみとリサイクルできるものにきちんと分けるんだ。新しいものに生まれ変わるから、リサイクルできるものはごみにしないでね。」

と りー（Ｒｅｅ）ちゃんが２人に教えてあげると、

清掃車くんも

「リサイクルできるものがごみと一緒に混ざっていたら、僕はすぐにお腹がいっぱいになってしまって困るんだ。」

と うなずきました。

「私、ごみを減らすようにがんばるね。」

「ぼくもがんばるよ。」

「ありがとう。みんなが少しずつ気をつけてくれれば、ごみを減らすことができるね。」

と 清掃車くんはうれしそう。

「それに、ごみを減らせば、埋立地も長く使えるんだ。」

と りー(Ｒｅｅ)ちゃんも２人ががんばってくれるのでうれしそうです。

「みんなもあいちゃんとはやとくんみたいにごみを減らす工夫をしてね。」

おしまい

この絵本は、暮らしの中のごみや
リサイクルのことについて
子どもたちに興味を持ってもらうために
作成しました。
絵本を通して、子どもたちや家族の方と一緒に、
ご家庭の中でどのようにしたら、
ごみを減らすことができるか、
考えてみてください。

葛飾区ごみ減量・３Ｒ推進キャラクター
りー（Ｒｅｅ）ちゃん

平成20年6月
発　行
葛飾区環境部リサイクル清掃課
〃　　清掃事務所

協　力
日の出保育園